



## BNI 三重リージョン ニュースレター

【2019年3月号】

### 【BNI公式ポッドキャストより】

ミーティングに出席し、ビジネスを増やす

**プリシラ**：みなさんこんにちは。私はプリシラ・ライスです。今日も BNI の創立者でチーフ・ビジョナリー・オフィサーのアイヴァン・マイズナー博士と電話がつながっています。こんにちは、アイヴァン。ご機嫌いかがですか。そして、今日はどちらにおいでですか？

**アイヴァン**：こんにちは、プリシラ。今週はメキシコです。メキシコで開催中の TLC カンファレンスに参加しています。このトランスフォーメーション・リーダーシップ・カウンシルですが、いつもたくさんのことを学んでいます。

何週間か前に、ポッドキャストをしました。「楽につながる苦勞、苦勞につながる楽」。困難な道は、往々にして楽な将来につながる。BNI での具体例は？と尋ねてくれたので、出席がその一例だと言いました。

チャプターで出席ポリシーをしっかり維持していくのは容易ではありません。しかし、そうすれば結果として、チャプターはずっと大きな成功を手にすることができます。これが今日のポッドキャストの話題です。前のポッドキャストで、この話をするといいましたね。パワフルな話題です。自分たちで経験してきているものですし、それを裏付けるデータもあります。出席すれば、もっと稼げる。それだけ。たったこれだけです。

今言ったことがしっかりできているのなら、ここでポッドキャストを止めてもらってもいいかもしれません。でも、統計データを見たら、それも足しになるでしょう。というわけで、それが今日の話です。

質問。「今までに、電話で床屋をしたことがありますか？」ないですね。自分がその場にいないければならないものの 1 つです。BNI でも同じこと。BNI に加入

するのは、リファーマルを交わし、ビジネスを増やすためです。信頼関係を築くのが大事だとは分かっていますが、リファーマルのプロセスにおいてそれがどれほど重要なのかは、分かりにくいかもしれません。出席が組織に及ぼす影響は以前から分かっていました。

何年も前ですが、月に2回しかミーティングをしない BNI チャプターがありました。本当の話です。1985年には、月に2回しかミーティングのないチャプターがあったのです。今はどうしてなくなったのか、不思議に思うかもしれません。答えは簡単。月に2回しかミーティングをしないチャプターは、毎週ミーティングをするチャプターに比べて、交わすリファーマルが52%少なかったのです。

少し詳しく見てみましょう。1985年に、月に2回しかミーティングのないグループはリファーマルが52%少なかった。衝撃的なデータです。1985年にこの統計を見たとき、1つの例外を除いて、全てのグループが毎週のミーティングに切り替えました。毎週のミーティングへの変更を拒んだグループは、上手く行かずに解散しました。

というわけで、1986年には、世界中の全ての BNI グループが—とはいえ当時はカリフォルニアだけでしたが—毎週ミーティングをしていました。今でも、全てのグループが毎週ミーティングをしていますね。これが、月に2回のミーティングを試行した結果です。

最近、SuccessNet でビエトリス・スパラチーノと記事を共同執筆しました。ビエトリスは学士論文でネットワークングを取り上げ、自分のリージョンの BNI グループを研究しました。この研究で、自分のリージョンのメンバー1人当たりの欠席回数とサンキュースリップ額を比較したのです。

統計から明らかになったこと。欠席が少ないメンバーは、サンキュースリップ額がずっと大きかったのです。欠席回数が倍になると、サンキュースリップの額が50%も落ちてしまうことがグラフから読み取れます。この話、なるほどと思えますか？長年、状況は同じでした。欠席の少ないメンバーは多くのリファーマルを手にし、サンキュースリップの額も大きくなる。疑問を差し挟む余地のないデータですね。6か月で欠席が3回あるメンバーは—欠席できる最大の回数ですが—、手にするビジネスが73%も少ないのです。

プリシラ：本当ですか？大きな違いですね。

**アイヴァン：**その通り。たった3回の欠席にも関わらず、ビジネスは73%も少なくなる。それに、衝撃的なデータがあります。6か月で4回欠席したら—これはあってはいけないケースですが—6か月で3回が上限なので。でも、もし4回欠席したら、チャプターがそれを許容してしまっている場合ですが、そういった人のビジネスは84.1%少なくなります。

**プリシラ：**それは、ほとんどそこにいないのと一緒ですね。

**アイヴァン：**その通り、メンバーでないようなものです。信じられないほど低い値です。これこそ、私がいつも言っていることです。出席はチャプター、それにメンバーの成功にとって不可欠だと。

ミーティングに出ないのは、自分で自分の首を絞めているようなものです。BNIは、人との信頼関係の構築にかかる時間を減らし、リファーマルを促進するための組織ですから。リファーマルを手に入れ、サンキュースリップ額を増やしてくれるのは、こうして築いた信用に他なりません。そう考えると、毎週チャプターのミーティングに出席するのは、仲間のメンバーに自分をしっかり意識してもらうのに、一役買っているわけです。

イタリアに、こんなメンバーがいます。ビエトリスにも素晴らしいストーリーだね、と伝えましたが—その人物は、しばらく前に有名なリアリティ番組のファンになったそうです。特に、その番組の中で競っていたカップルがいて、そのカップルをツイッター、フェイスブックなどのソーシャルメディアでフォローし始めた。

そうしたら、思ってもみなかったことになりました。そのカップルが負けて、番組から消えてしまったのです。最初こそがっかりしたものの、何週間か経ったら、忘れてしまいました。その後、そのカップルが番組にゲストとして招かれました。その時初めて、自分が気に入っていたカップルを、ごく短い間にきれいに忘れてしまったことに気づいたのです。思い入れを持っていたカップルです。でも、数週間で忘れてしまった。

古いことわざ「去る者は日々に疎し」は、全く本当ですね。BNIでもそうです。リファーマルでも。ミーティングに出なくても問題ない、と思っているメンバーは、明らかに大きな間違いを犯しています。データから明らかです。ミーティン

グに出ず、ビジネスを失うか。ミーティングに出て、ビジネスを増やすか。疑問を差し挟む余地のないデータです。BNIが始まった当初から、そうだったわけです。

チャプターで話をして、その後でこの前のポッドキャスト「楽な道は困難な道」を聴いてみてください。深く関連するポッドキャストですね。チャプターが出席状況の改善に本気で取り組めば、ずっと多くのリファーマルを出せるようになるわけですから。今日はこれで全部です。もし何か質問がなければね、プリシラ。

**プリシラ**：いいえ。ただ、付け加えると、出席することは他のメンバーに敬意を表すことにもなると思うのです。メインプレゼンテーションとか、ミーティングでやっていることも聞けるわけですから。

**アイヴァン**：その通り。それに、少し考えてみると、これは信頼関係を築く作業の1つですね。今日の話は、そういう話です。信頼関係の維持。出席してその週のスピーカーのプレゼンテーションを聞くのは、今言ってくれたように、信頼関係の一端です。そのスピーカーとすれ違い、プレゼンを逃していると、信頼関係は強固になりません。こういった、主観的な視点から大事な理由もあるでしょう。それに、データで示したように、客観的な視点から大事な理由もある。出席がビジネスを増やしてくれる、というね。

**プリシラ**：おっしゃる通りだと思います。

**アイヴァン**：さて、お聴きの皆さん、ぜひコメントをお寄せください。特に、出席状況を改善するためにチャプターで対策し、何らかの結果が得られた方。他のメンバーが知りたいと思っていることだと思います。チャプターで出席を厳しくし、結果が得られたという場合には、ここ [BNIpodcast.com](https://BNIpodcast.com) でシェアしてください。ありがとう、プリシラ。

**プリシラ**：かしこまりました。マイズナー博士、ありがとうございました。今週はここまでですね。お聴きいただき、ありがとうございます。また来週、BNI公式ポッドキャストの楽しいエピソードでお会いできるのを心待ちにしています。

### **【BNI 三重リージョン ディレクターより】**

3月（と9月）は半年ごとのチームリーダーズトレーニング（モジュール1、モジュール

2) が開催されました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

半年の1度、チャプター運営が基本に沿っているかどうか確認する機会でもありますので、ご自身でもテキスト内容の確認をお願いします。BNI は世界で成功を収めているビジネスシステムですので、安易にオリジナルに走らず、その内容を重視いただければと思います。

### **【編集者より】**

毎週、当たり前のように開催されているビジネスミーティング。勿論、やむを得ない理由で代理出席や欠席の場合もあります。データから、そしてチャプターメンバーと信頼関係を築く上で、毎回出席することがここまでリファーマルの結果に影響していることが明らかであれば、チャプターメンバーの出席率を見直すことも大切です。毎月、更新メンバー一覧表を作成しながら数字を見ていると、私も博士の仰っていることがデータ上正しいと思います。当たり前のことを見直してみる良い機会ではないでしょうか。是非チャプター内で互いの出席状況を確認してみてください。